

平成28年（2016年）3月15日

日光市議会議長 手塚 雅己 様

教育建設水道常任委員長 青田 兆史

委員会調査報告書（所管事務調査）

教育建設水道委員会は、所管事務調査として「自然災害について」・「スポーツ合宿誘致と施設整備についての調査」について調査研究を実施し、その結果を取りまとめましたので、日光市議会会議規則109条の規定に基づき、下記の通り報告いたします。

記

調査テーマ 自然災害について

1. 調査目的 国県道及び市道の維持管理・除排雪や雨水排水等の連携体制を調査研究することにより、県、業者、市の情報の共有化を図り、応援体制を構築する方法について、執行部に提言することを目的とする。

2. 調査経過

期 日	会議及び調査内容	場 所
平成26年 6月13日	大雨被害について現地調査	県道宇都宮今市線（長畑～平ヶ崎間）、本町アンダー
平成26年 6月27日	大雨による被害現地調査に関する意見交換について	本庁第1会議室
平成26年 6月30日	除雪対策について	北海道釧路市
平成26年 8月12日	行政視察報告 (釧路市 除雪対策について)	本庁委員会室
平成26年 12月15日	平成26年度除雪計画書について (11月12日 日光地区除雪連絡調整会議設置)	本庁委員会室
平成27年 3月16日	第2次日光市道路整備基本計画（原案）について	本庁委員会室

期 日	会議及び調査内容	場 所
平成27年 5月 8日	所管事務調査 (平成27年度新規事業・重要事業について)	本庁委員会室
平成27年 9月17日	台風第18号等による被害状況の現地調査	国道121号藤原町イの原、国道121号龍王峡大橋交差点等
平成27年 10月 3日	台風第18号等による被害状況の現地調査 (委員長・副委員長対応)	県道小来川文挾石那田線 (小代地内)、岩崎(白石神社付近)

3. 調査概要

平成26年2月の大雪により国道・県道・市道各方面で道路の閉鎖が相次いだ。その影響により除雪車・除雪機の燃料補給も出来ない状況があった。除雪の遅れもあり、交通機関にも影響を及ぼし透析等で通院をされている方々には通常通りの通院が出来ず、また停電の影響により酸素を利用している入院患者の命に関わるなど日常生活をも脅かす状況もみられた。

また、平成26年6月には、今市で1時間に58.5mmの非常に激しい雨を観測。今市で積算雨量388mm、奥日光中禅寺湖畔では373mmを記録し、床上浸水・床下浸水により、自主避難があった。

当常任委員会では、6月13日に大雨被害にあった県道宇都宮今市線(長畑～平ヶ崎間)、本町アンダーの大雨被害について現地調査を行ったことから自然災害(大雪・大雨等)について調査研究を行った。

4. 結果

大雪被害について

北海道釧路市にて除雪対策について視察を行った。視察項目として、除雪計画やマニュアルについて、国道、道道、市道における除雪作業者の連携について、除雪費用及び財源について、除雪後の雪捨ての現状について等を中心に調査した。

釧路市では除雪計画書が作成されており、平成16年度に除雪連絡協議会が組織され、市民や除雪事業者と協働で運営され除雪作業が円滑に進められている。視察報告会等で執行部に対し要望等を行ったことにより当市も平成26年に日光市除雪計画書が作成され内部体制、関係機関との除雪体制、除雪連絡調整会議における体制表のもと現在除雪作業が行われている。

大雨被害について

平成27年9月に台風第18号及び台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となり、9月10日から11日にかけて、関東地方や東北地方では、統計期間が10年以上の観測地点のうち16地点で、最大24時間降水量が観測史上1位の値を更新した。

当市では、五十里 551.0mm、土呂部 444.0mm、今市 541.0mmが観測史上1位の値を更新し、土砂崩れ、道路陥没、河川の氾濫、住宅被害等、甚大な災害の発生により20代の男性が尊い命を奪われるなど大きな爪痕を残した。

9月17日に当委員会で国道121号藤原町イの原（土砂流出・法面崩落）、国道121号龍王峡大橋交差点（日塩もみじライン入口付近）（土砂流出・法面崩落）、芹沢地区（土砂崩れ・道路陥没・住宅被害等）、県道黒部西川線（西川打越トンネル付近）（土砂流出・法面崩落）等の現地調査を行った。

調査テーマ スポーツ合宿誘致と施設整備について

1. 調査目的 担当部課等のイベント開催計画や関係競技団体との連携、さらには、スポーツ施設の整備計画等について調査研究を行うことを目的とする。

2. 調査経過

期 日	会議及び調査内容	場 所
平成26年 7月 2日	帯広の森運動公園（現地視察）	北海道帯広市
平成26年 8月12日	行政視察報告 （帯広市 スポーツ合宿誘致と施設整備について）	本庁委員会室
平成27年 3月24日	議会報告会 テーマ：スポーツ合宿誘致と施設整備 ※東京オリンピックに向けたキャンプ地誘致 についての提言	大沢体育館会議室
平成27年 5月 8日	所管事務調査 （平成27年度新規事業・重要事業について）	本庁委員会室
平成27年 7月 7日	東京オリンピック・パラリンピック推進本部の 取り組みについて	静岡県焼津市
平成27年 6月18日	「日光市スポーツ推進計画」策定骨子について	本庁委員会室

期 日	会議及び調査内容	場 所
平成27年 9月 4日	行政視察報告 (焼津市 東京オリンピック・パラリンピック 推進本部の取り組みについて)	本庁委員会室
平成27年 11月10日	所管事務調査 「東京オリンピック・パラリンピック事前合宿 誘致への取り組み状況について」 「日光市スポーツ推進計画」中間報告について	本庁委員会室
平成28年 1月22日	「日光市スポーツ推進計画」原案について	本庁第1会議室

3. 調査概要

2013年9月に、2020年夏季オリンピック、パラリンピックが東京で開催されることが決定し、それに伴い開催地の東京をはじめ各県で事前キャンプ地の誘致活動を開始している。

栃木県もキャンプ地誘致を表明しており、2022年に栃木国体の開催も決定していることから、当市も積極的にスポーツ合宿誘致と施設整備に取り組む必要性があると捉え、現状を踏まえ調査研究を行った。

4. 結果

帯広の森運動公園について（スポーツ合宿誘致と施設整備について）：帯広市

国際及び国内大会等の大会開催や合宿誘致活動については、帯広市スポーツ合宿・大会誘致委員会（会長：帯広市長）が組織化されており、毎年総会が開催され東京での誘致活動や合宿団体アンケートの実施などのほか、市に対し今後の宣伝活動や施設利用の方向性について具体的な提言をする等活発に進められている。また、施設見学や講演、受け入れ調査も実施している。

2014年5月には、市や市文化スポーツ振興財団などが東京オリンピック、パラリンピック招致の立役者でもある、内閣官房参与の平田竹男氏を招いての施設見学や競技団体等を対象にした講演会を開くなど誘致に必要な情報を集め本格的に活動をしている。

また、東京オリンピックだけではなく2018年冬季平昌オリンピック、パラリンピックも視野に入れ積極的に取り組みをしている。

東京オリンピック、パラリンピックに向けたキャンプ誘致の取り組みについて

平成27年5月29日、日光市議会からも東京オリンピックのフィールドホッケー合宿誘致・施設改修について、市長に提言を行った。

日光市においても、人口減少が進む中、シティプロモーション、スポーツ観光、インバウンドなど積極的に展開する絶好な機会と捉え、ホッケー競技合宿誘致（東京オリンピック・パラリンピック）及びスケート競技誘致（平昌オリンピック・パラリンピック）を重点誘致競技と選定し、栃木県に対し、誘致活動の要望を提出しているところである。

まとめと提言

【自然災害について】

ここ数年日本全域で異常気象により甚大な被害が発生しており、日光市においても大雪、突風、大雨による被害が発生し市民からも不安の声が聞かれている。

今後、同様な災害が起きても早急な対応が取れるよう自然災害に対する調査検討を実施した結果、次のような提言としてまとめた。

今後、大雨の影響による被害が起きた場合でも早急な対応が出来るよう「河川整備計画」「ハザードマップの再調査」「大雨以外の自然災害（突風・大雪等）における危険箇所等の日ごろの点検」「農業用水の整備」また、各地域の学校で日頃から災害に対する避難訓練が必要である。

【スポーツ合宿誘致と施設整備について】

当市においては、現在3課（スポーツ振興課・総合政策課・観光振興課）での受け入れ体制で誘致活動を行っているが、東京オリンピック合宿誘致の取り組みに遅れをとっているとの意見があり、市長が先頭に立ち推進本部設置の立ち上げ、誘致までのスケジュールを策定し、関係団体との協議を進めより積極的に誘致活動が図れることを強くお願いするところである。